

**令和4年度(上半期)**  
**経営発達支援計画に基づく短期目標に係る総合評価**

**1. 地域経済活動向調査**

**評価対象事業**

- ・管内の小規模事業者の景況調査経済動向資料の分析・作成
- ・公的機関が発行する資料の整理・分析、調査事項に対する分析・公表

**実施状況**

管内の小規模事業者 80 者を対象に、景気動向調査を 6 月と 9 月に行い公表した。  
併せて公的機関発行の景況に関する資料を収集し、公表資料に盛り込んだ。

**評価・コメント**

委員からは、「調査の公表資料には資金繰りの動向を示す円グラフがあるが、ゼロゼロ融資の返済が始まる来年度以降の支援に役立てて欲しい。」とのコメントがあった。

**2. 経営状況の分析**

**評価対象事業**

- ・『本気』の取り組み小規模事業者の募集
- ・ローカルベンチマークを活用した経営分析の実施
- ・重点支援先を対象とした経営分析キックオフセミナーの開催

**実施状況**

重点支援先を公募したところ 32 者の応募があった。このうち令和 3 年度からの継続申込者が 6 者、新規事業者が 26 者となった。事業者から予め決算書を預かり、ローカルベンチマークによる経営分析を行って 32 者に配布した。その上で、事業者を対象として 2 時間 2 回(5/30、6/6)の経営分析セミナーをオンラインで実施した。出席者からは積極的な質疑がなされるなど積極的な姿勢が見られた。受講が難しい方には動画受講を可能にしたことで 100%が受講している。

**評価・コメント**

委員からは、経済産業省も推進しているローカルベンチマークを活用している点について評価いただいたが「分析結果を職員と事業所で共有して支援に活用して欲しい」とのコメントもあった。セミナーの動画視聴に関しては受講者の視聴割合等に関する質問があり、よい取組であるとの評価を得た。

**対策**

- ・昨年度は売上利益の成果につなげられなかった。分析結果であるローカルベンチマークを活用できるよう、職員もしっかりと理解して実施支援につなげていく。

### **3. 事業計画策定**

#### **評価対象事業**

- ・ 事業計画策定セミナー（『デザイン経営』の考え方を身に付けるセミナー）の開催
- ・ 事業承継に関する個別相談会の開催

#### **実施状況**

本気の事業者を対象として、3回(6/17, 7/4, 7/15)に渡るデザイン経営を軸とした経営計画作成に関するセミナーを開催した。当会オリジナル様式である「事業計画シート」に各者の事業計画を落とし込みながら進めた。事業計画作成に関して催促し他事業所もあるが「自分で書いてもらう」ことにこだわって31者に提出いただいた。また、創業希望者7者に対して、県や町の創業補助金申請のための事業計画作成を支援した。

他に、事業承継の支援として個別相談会を1回(9/21)開催し、3者の相談があった。下期にもう1回(12/12)開催予定である。

検証委員会では補助事業や経営革新など本気の事業者を含めた商工会全体での事業計画作成の支援状況も報告した。

#### **評価・コメント**

委員からは、本気の事業者のセミナーにオブザーバーとして参加している多可町の杉原紙研究所の運営にもこの支援プログラムが役立っているとのコメントがあった。

#### **対策**

計画の内容や精度にバラつきがあるものの、次のアクションが止まらないように注意して支援を継続していく。

### **4. 事業計画策定後の実施支援**

#### **評価対象事業**

- ・ 巡回・窓口相談によるフォローアップ
- ・ ITの積極活用によるフォローアップ

#### **実施状況**

本気の事業者(31者)、創業者(7者)に対するフォローアップを行い、9月30日現在で昨年度よりも多い延べ152回の支援(巡回相談・窓口相談)を実施した。また、HP作成等に関する専門家による支援、SNS活用セミナーなどIT活用に関するフォローアップも行った。

#### **評価・コメント**

委員からは「他の商工会では、分析や計画作成で終わることが多いがアフターフォローもしっかり取り組んでいる」とのコメントがあったほか、「職員1人当たり何件の事業所を担当しているのか」といった質問があり、資料に記載の本気の事業者以外にも多数受け持っている旨を回答した。

## 対策

下半期も専門家派遣等の様々な支援制度を積極的に活用して、成果が出るように支援を継続的に実施していく。

## **5. 需要動向調査**

### 評価対象事業

- ・ヒトを対象にした需要動向調査(高齢者)
- ・モノを対象にした需要動向調査(衣生活・多可町の食)

### 実施状況

ヒト(高齢者)を対象とした需要動向調査は、多可町生涯大学「多可学園」の9月30日の講座で配布して現在調査票の回収中。モノ(衣生活・多可町の食)を対象とした需要動向調査は、下半期に実施予定。

### 評価・コメント

現在実施中のため、下半期に集計・分析結果を踏まえて報告。

## 対策

多可町の食に関する調査に関しては、集計・分析結果を下半期に出展する食の展示会の出展者にも共有を図る。

## **6. 新たな需要の開拓に寄与する事業**

### 評価対象事業

- ・地場産業・地域資源の商品・サービス開発の支援
- ・広報支援及びIT活用による支援
- ・展示会等出展による販路開拓支援

### 実施状況

- ・小規模事業者持続化補助金や多可町の特産品開発支援補助金に関して、商工会のLINEやみみよりinformationを活用して情報提供を行った。多可町の特産品開発支援補助金に関しては独自のチラシを作成して周知を図った。
- ・多可町と連携して定例記者発表で7月と9月の2回、事業者の新たな取組や地域貢献活動等に関する広報支援を行った。
- ・よろず支援拠点と連携して、8/31にLINE活用に関するミニセミナーを開催した。
- ・播州織の事業者のうち募集があった7者の東京インターナショナルギフトショーへの出展を支援し、9月末時点で4者が合計50万円の成果を挙げている。7者のうち3者はオンラインでの出展となり、オンライン商談が3者あった。

### 評価・コメント

展示会出展に関して、コロナ禍前との違いに関する質問があり、本気度の高いバイヤーの来場が増え出展事業者もどうするべきかを自ら考えるように変化した旨を説明した。委

員からは他の事業者を喚起するためにも展示会出展者の成果発表の場を設けて欲しいとの要望があった。

移住者の創業支援をはじめ多可町と連携して手厚い支援をしっかりと活用できており、地域の魅力を伝えることにつながっているとの評価を得た。

### ●評価委員による項目別チャート

